



2014・4・26

第 183 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

「戦争する国づくり」反対の世論を草の根から

九条の会発足 10 周年講演会要綱

九条の会発足 10 周年講演会の実施要綱が
つぎのように決まりました。

◇名称 九条の会発足 10 周年講演会

集団的自衛権と憲法 9 条

◇6 月 10 日（火）開会 18 時（開場 17 時）

◇＜講演＞

大江健三郎（作家・九条の会よびかけ人）

奥平康弘（憲法研究者・九条の会よびか
け人）

澤地久枝（作家・九条の会呼びかけ人）

池田香代子（翻訳家、世界平和アピール
七人委員会）

＜あいさつ＞

金泳鎬（韓国・檀国大学硯座教授）

＜ビデオ出演＞

阪田雅裕（元内閣法制局長官）

◇会場 渋谷公会堂（東京渋谷区）

◇参加費 前売 1000 円 当日 1500 円

◎要事前申込（定員になり次第締め切り）

郵便振替可

00100-9-774293 九条の会講演会

九条の会事務局主催緊急学習会

—止めよう！安倍政権の『戦争する国』
づくり—

「九条の会」事務局は安保法制懇の報告
書批判の運動をただちに開始するため、下
記のような学習会を開催します。

◇日時：5 月 15 日（木）18 時 30 分～
21 時終了予定

◇会場：東京しごとセンター講堂（JR・
東京メトロ東西線・有楽町線・南北線・
都営地下鉄大江戸線飯田橋駅徒歩 7 分、
東京メトロ東西線・半蔵門線・都営地下
鉄新宿線九段下駅徒歩 10 分／住所 東京
都千代田区飯田橋 3-10-3）

◇講師

・「立憲主義と平和主義を破壊する安保法制
懇報告書」 山内敏弘（一橋大名誉教授）

・「集団的自衛権行使容認のねらいと闘
いの展望」 渡辺治（一橋大名誉教授）

講演後、若干の質疑応答。

◇参加費：1000 円

申込は不要です。直接会場においでくださ
い。

全市町村に「会」結成めざす

【富山】 「九条の会」富山県連絡会は3月15日、富山市で第7回「9条の会」活動交流会を開き、14団体から30人が参加しました。

長谷川了一代表幹事が2013年の活動では7回にわたる「憲法を学ぼう」連続講座にのべ269人が参加したことを報告。さらに草の根からの「戦争する国づくり」に反対する運動を強化するためすべての市町村に9条の会を結成するための共同をよびかけました。

9つの「会」から活動報告がおこなわれ、自民党改憲案や秘密保護法などの学習懇談会とニュースの発行を毎月おこなっている（憲法をまもる小矢部市の会）、年4回の学習会と結び付けて地域を全戸訪問し2012人分の署名を集めた（富山市・藤ノ木9条の会）などの活動が紹介されました。

市町村で憲法9条守る決議めざす

【沖縄】 「ネットワーク九条の会沖縄」が県内35の会によびかけて開かれた沖縄県内の「九条の会」の交流集会在3月7日に開かれ、安倍政権による集団的自衛権容認に向けた暴走をとめる活動の交流をしました。

加藤裕弁護士・「ネットワーク」事務局長の情勢報告をうけて、会結成1年間の活動報告（那覇市・小禄九条の会）や、2月に結成したばかりの会からその準備に向けた取り組み（うるま市九条の会）、各市町村で9条を守る決議をあげるため陳情や要請に組み込む準備をすすめている（大宜味九条の会）などの報告がおこなわれました。

5月3日の新聞意見広告に向けて

【鹿児島】 「かごしま九条の会」はこのほど第10回総会をひらき50人の会員が参加しました。

荒川譲代表幹事が、集団的自衛権の行使容認に向けた動きにふれ、「憲法9条の理念を踏みにじる一つ一つの動きに声をあげていこう」とあいさつ。

活動報告をした飯田泰雄代表幹事は、昨年、「出水（いずみ）九条の会」や「上町（かんまち）九条の会」が結成されたことを紹介し、恒例となっている5月3日の新聞意見広告掲載をめざし、さらに新たな会を結成することを呼びかけました。

集団的自衛権行使容認反対「九条の会」アピール賛同者の声・下

昨年10月7日に「九条の会」が発表した「集団的自衛権行使による『戦争する国』づくりに反対する国民の声を」に賛同を表明された方々から寄せられたメッセージの続報です。

石坂啓（マンガ家）

毎日アベさんにムカついてばかりですが、長期戦のつもりでいこうと思っています。まだ、「戦前」ですから。よろしくおつきあいくださいね。

伊藤高弘（武蔵野美術大名誉教授）

憲法9条を守り、世界平和に貢献する20東京五輪を。

稲生勝（岐阜大学教授）

憲法9条と9条を守ってきた日本人の平

和運動は世界史に残る大事件であり、日本人の誇りです。集団的自衛権の悪だくみもかならずや打ち破れると確信しています。

いまむらいづみ（女優）

私たち戦争体験者は、二度とあの悲劇を起こしてはならぬ。責任を痛感し、反対する。80歳。

鶴沢秀行（文学座俳優）

これ以上、アメリカの属国化は沢山です。諸外国から羨ましがられている平和憲法を守り抜き、日本の平和、世界の平和実現のため尽力する国であり続けたい。次の次の次の世代の命を守りぬくためにも。

大西広（慶応義塾大学教授）

これまでアメリカがしていた否定的な役割を日本が引き継ごうとするとんでもない企みだと思います。

大林宣彦（映画作家）

取り返しがつかぬことにならぬよう、今が大切なときです。もっと危機感を！…

岡部昭（彫金家）

小4のとき日本陸海軍が上海に敵前上陸。中2のとき海軍はハワイに無通告空襲す。3年後アメリカ爆撃機数百機が毎日毎日日本に焼夷弾を落として焼土と化す。東京では5ヶ月間三日ごとの大空襲で焼け野原となる。戦後も合わせて2年間、話しても信じてもらえない飢えに苦しむ。それでも戦争するのですか、何故ですか、と問う。

小川志道（妙見寺住職）

一人でも多くの仲間呼びかけ、今やらなければならない事を考えて行きます。

葛西和雄（俳優）

日本の侵略戦争下、多くの演劇人が戦争遂行のために狩り出され、あるいは投獄されたのです。戦争の放棄こそ、日本の歩む道であり、反動を許すわけにはいきません。

小林亜星（作曲家）

この道はいつかきた道 ああそうだよ偉そうな奴に騙された道

定形衛（名古屋大学教授）

「国のために死ぬるか」ではなく「国のために人を殺せるか」と問うべきであろう。

ジェームス三木（脚本家）

戦争を起こすのは国家ではない。時の政府が起こすのである。

島田茂（日本YMCA同盟総主事）

未来に悔いを残さぬ様に。

進藤榮一（国際政治学者）

九条の会のいっそうのご健闘を祈念します。時代の反動を反転させるためです。

田島栄（劇作家）

もしも戦争でよその国の人間を一人でも殺したら、日本人は世界の多くの人びとから嫌われてしまうでしょう。

田中陽（口語俳句協会幹事長）

俳句は個人を尊重する哲学——日本国憲法の精神です。

巨保立子（真宗大谷派宗泉寺僧侶）

仏教は兵（ひょう＝兵隊） 戈（が＝武器）
無用を願いとする教えです。

鶴間和幸（学習院大学教授）

東亜細亜の国際関係の危機を痛感しています。何とか変えていかなければなりません。

朴慶南（作家）

日本がアメリカとともに戦争をする国に決してなることなく、隣国と平和を築いていく道に進むため、力をあわせましょう。
9条を手にと！

長谷詔夫（日本児童、青少年演劇劇団協同組合専務理事）

中学生の孫から言われました。「自分たちのしでかした過ちぐらいは責任をもってね！」と。

早川和男（神戸大学名誉教授）

保守党、財界、保守系文化人を含めて広汎な国民の声が必要です。運動がセクトに陥らぬこと。

深瀬忠一（北海道大学名誉教授）

平和的生存権の確保と新生

前澤哲爾（山梨県立大学教授）

戦争ビジネスの米国と共犯することに絶

対反対です。

MARIA CORRALES（聖母被昇天修道院）

憲法は絶対改悪されないように。むしろこの貴重な日本国憲法こそ「世界遺産」に認定すべきです。

水田嘉美（東海大学名誉教授）

「積極的平和主義」などと耳当たりのいい言葉を使って集団的自衛権の行使を容認しようとするのは、嘘の上塗りをしてしながら「戦争する国づくり」しようとするものであり国民は騙されません。

森岡孝二（関西大学教授）

「24の瞳」、赤紙、戦死の悲劇を繰り返させないために。

山本さとし（シンガー・ソングライター）

だれの心の中にも、平安とやさしさを。安全で、平らで、和やかな世の中を望みます。

吉原賢二（東北大学名誉教授）

日本の古代史が間違っているため、神勅、万世一系の天皇、現人神などの誤った概念が出来上がり、前の戦争の始まりに至った。これを是正する出版を企画。

渡辺毅（阪大名誉教授）

今の九条を守る運動はやや悲観的にすぎるのではないのでしょうか。敗戦の中から立ち上がった力を私は信じます。